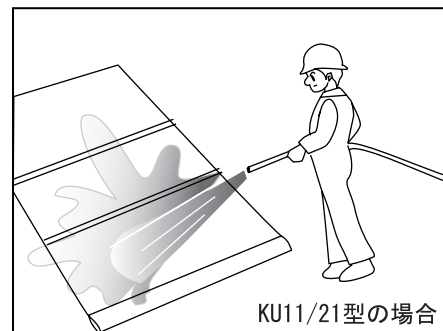
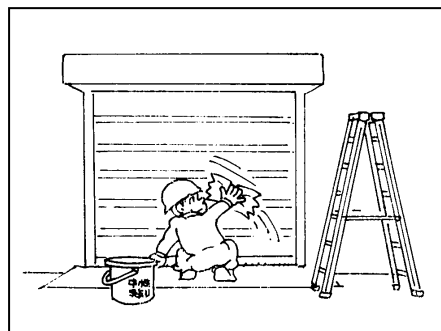
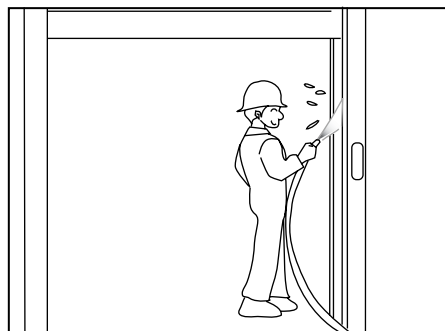


3 お手入れ方法と点検



●シートおよびサイドフレームに泥やほこり等が付着しますとさびの発生を早め、美観上からも好ましくありません。

汚れのひどい時は中性洗剤で汚れを落とした後、水で洗い流し乾かしてから使用してください。

また、シンナー・ガソリン・殺虫剤等の揮発性が高いものが付着しますとシートが劣化したり塗装がはげ光沢が失われることがありますので使用しないでください。

日常点検



必ず以下の日常点検を行ってください。日常点検を行わないと人身事故や重大事故になる場合があります。日常点検で不具合が発見されたら、ただちに使用を止め、お買い上げの取扱店にご連絡ください。

年 月 日 動作回数 回

	点 検 内 容	判 定 基 準	チェック
巻き取りBOX	動作時、異音はないか？ 変形、損傷はないか？ 上限、下限、中間での停止具合は？	異音のないこと。 特に巻き取り動作に影響しないこと。 著しいズレのないこと。	
サイドフレーム	変形、損傷はないか？ 樹脂ガイドの摩耗は？ ボルトのゆるみは？	特にパイプ、シートの動きに影響しないこと。 // ゆるみのないこと。	
シート部	損傷、汚れは？ パイプの曲がりは？	円滑に上昇、下降すること。 光電管センサーに検知されないこと。	
電装関係	センサーはきちんと機能しているか？ 各センサーのボルトのゆるみは？ 光電管センサーのレンズ面の汚れは？	正常に機能すること。 ゆるみのないこと。 機能に支障をきたす汚れのないこと。	

コピーして使用してください。

定期点検について

- シートシャッターの安全性を維持するためには定期点検が必要です。



定期点検は、必ず行ってください。
適切な定期点検を行わないと、人身事故や重大事故になる場合があります。
お買い上げの取扱店に定期点検作業をご相談ください。
指定店以外の点検は、人身事故や重大事故になる場合があります。

定期点検実施の目安（開閉回数を目安にした点検時期）

1日当たりの開閉頻度	定期点検回数（年）
1000回未満	1回
1000回以上	半年に1回

※コントローラーのお知らせ機能により、5万回/10万回/20万回（以降10万回毎）にアラームと表示部の点滅で点検時期をお知らせします。

※1ヶ月点検：毎月1回異音発生の有無及び各センサーの取り付け・検知エリアを点検し、正常に動作することを確認してください。

※累計50万回のカウントになりましたら、お買い上げの取扱店に総点検をご依頼ください。

●シャッターの大きさ、経過年数、使用条件及び用途により点検回数は異なりますので、お買い上げの取扱店にお問い合わせください。

定期点検契約について

「定期点検契約」を結んでいただくと年1～2回の定期点検を実施します。
詳しくはお買い上げの取扱店にお問い合わせください。

消耗部品

消耗部品	交換時期（目安）	判定基準
シート	特に定めない。 目安として2～3年 使用頻度・周囲の環境により異なることがあります。	補修不能な破損。 極端な汚れや透明度の低下。
樹脂ガイド	特に定めない。 目安として2～3年 使用頻度・周囲の環境により異なることがあります。	補修不能な破損。 接触部分の極端な摩耗。
開閉機のブレーキ板	開閉100万回。 （定期点検を実施の場合） 使用頻度・周囲の環境により異なることがあります。	停止位置の極端なズレ。

●部品手配の際にはお買い上げの取扱店にご相談ください。

また、その際には部品名とコントローラー扉裏面に表示（製造番号シール）してあります製造番号、型式を明示してください。

●市販品補修材

◎シートの補修可能な場合には下記の接着剤で補修してください。

シート補修用接着剤：（株）スリーボンド社製 PANDO 156A 相当品